

*題名中に書名が出現する場合は、引用符「」で囲みイタリック体を使用しない。

六 投稿原稿は、コピーを一部添付すること。原稿は著者校正の際も原則として返却しないので、手元にコピーを一部残すこと。

七 著者校正は、原則として原著・総説・研究ノート・広場・資料を対象とし、初校のみとする。校正は字句の訂正に留め、組版面積に影響を与えるような改変や、その他の組み替えは認めない。校正刷りの返送期日を厳守すること。期日までに返却されない場合は責了とみなす。

八 刷り上り五印刷ページ(四〇〇字詰原稿用紙で一二枚)までは原則として無料とし、超過分と図表製版の実費は著者負担とする。

九 論文別刷は五〇部単位とし実費で作製する。別刷希望者は校正刷第一頁の上方に部数を朱書すること。

一〇 原稿の送り先

〒一一三 東京都文京区本郷二丁目一一一

順天堂大学医学部医史学研究室内

日本医史学雑誌編集委員会

編集後記

本号は「医史学関係文献目録」号であります。順天堂大学医史学研究室の方々の努力によるものであります。また会員の方々が情報(発表論文とその別刷)を寄せられたことにも支えられております。今後もよろしく御配慮いただきたく思っております。ただし、作成者たちが願っていることは、目録に記載できる形で情報をお送りいただきたいということでありませぬ。▲会員通信、研究余滴などが掲載できぬかという声を聞きます。当委員会としては、はじめから細かく欄を分けるのではなく、「広場」という欄を設けて、原著、総説、研究ノート、資料以外のものを掲載し、投稿原稿の内容、種類の数がふえた段階で、いろいろな欄をつくろうと考えております。しかし、今はそんな有難い状況ではありません。▲残念ながら、原著、研究ノートの投稿は、多すぎるといふ状態ではありません。その原因は、まず第一に審査があることでしょう。第二には、単行本、商業誌、PR誌など、発表の機会が異常といえる位多くなっていることがあるでしょう。第三には、喜ばしいことに、医史学およびその周辺分野の研究会と機関誌があらちらこちらにできたことでもあります。▲学会誌は学会の顔であります。また、文部省の助成金をいただいている関係で、所定の総頁数、年四冊刊行を義務づけられております。そのため会員の投稿を期待し、さらに自助努力をしております。広場、医史学と私、関連学会研究会消息、医史学関係文献目録、紹介などであります。審査は、できるだけ、掲載の方向を指向しています。修正、追加、書き直しなど御協力下さい。

(矢部 一郎)